PRESS RELEASE

2026 年 10 月 27 日

報道関係者各位

株式会社 DMC Aizu

株式会社 DMC Aizu、日豪協会 ACT と友好連携協定を締結

～日豪間の教育・文化・地域交流を深化させ、青少年の継続的な留学プログラムや全国規模の交流を推進～

株式会社 DMC Aizu（本社：福島県猪苗代町、代表取締役：遠藤昭二、以下「当社」）は、日豪協会 ACT（Australia Japan Society ACT Inc.、本部：オーストラリア・キャンベラ、会長：Dianne Fitzpatrick、以下「AJS ACT」）との間で、日本とオーストラリア間における友好関係と相互理解を深め、継続的な交流を推進するための「友好連携協定」を締結いたしましたので、お知らせします。

本協定は、日本とオーストラリアの間における教育、文化および地域交流の促進を目的とするものであり、今後はパートナーとして末永く協力し、さまざまな連携事業に取り組んでまいります。

■ 協定の主な連携事項

本協定に基づき、両者はそれぞれ可能な範囲で以下の事項について連携・協力してまいります。

1. 青少年の交流・留学プログラムの継続的な実施
2. 文化、教育および地域コミュニティに関する交流活動の企画と実施
3. 福島をはじめとする日本国内地域と、オーストラリア首都特別地域（ACT）の魅力や取り組みの相互紹介
4. 相互訪問および情報・意見の交換
5. その他、両者が合意する事項

なお、本協定に基づく具体的な事業の一つとして、本年 11 月下旬からは、キャンベラのラドフォード・カレッジ（Radford College）の高校生 2 名を猪苗代町（猪苗代高校・猪苗代町教育委員会等の連携・協力）へ約 7 週間受け入れる「AJS ユース交流プログラム」を実施することが決定されています。今後も AJS ACT が掲げるさまざまなご希望やニーズに合わせて、各地へのアテンドや地域間交流の展開すべく提案し実践してまいります。

■ 今後の展望

当社は、これまでリゾート施設の運営や地域活性化事業を展開するなかで、グローバルな視点を持った地域づくりや関係人口の創出にも注力してまいりました。少子化に伴い地域の高校入学生が減少する中、「地域みらい留学」への協力をはじめとして、全国各地の魅力ある学校づくりへの協力も積極的に推進していく方針です。今回の AJS ACT との友好連携協定の締結を契機に、次世代を担う青少年の国際交流や教育環境の充実に貢献してまいります。特定の地域にとどまらず、AJS ACT のご希望に寄り添いながら、日本とオーストラリアを繋ぐ持続的な地域間交流の発展に寄与してまいりたいと考えています。

● 株式会社 DMC Aizu について

商　　号	株式会社 DMC Aizu
本社所在地	福島県猪苗代町字葉山 7105 番地
U　R　L	https://dmc-aizu.co.jp/
事 業 内 容	リゾート施設運営事業 / 発電事業 / 地域 DX 推進支援事業 / DMO 活動
主な関連施設	猪苗代スキー場、ホテルヴィライナワシロ、猪苗代観光ホテル、道の駅前 猪苗代いちご園、世界のガラス館 猪苗代店、猪苗代地ビール館、猪苗代おかし館 ほか
資　本　金	9,800 万円
代　表　者	代表取締役社長 遠藤昭二
株　　主	株式会社ＩＳホールディングス 100%

- お問い合わせ先

株式会社 DMC Aizu
担当：遠藤俊平（えんどうしゅんぺい）
TEL：0242-62-4755
E-mail：shunpei.endo@dmc-aizu.co.jp